

HANCHIKU

【版 築】

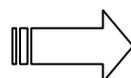


I. 版築工法

中国から飛鳥時代に仏教と共に伝来した工法で、万里の長城の一部・京都寺院の土塀・墓壇に使われておりました。この工法は板枠と板枠の間に土を突き固め幾重にも層を成し、板枠を脱形解体したものです。

真砂土・地場の土・砂利を主原料に生石灰・にがりを繋ぎ材に清水の量と突き固め方法により壁面の表情が変化します。

この工法ですとコスト的に高価になります。同じ表情を塗り壁で表現したのが版築風塗り工法です。



群馬産真砂土 (G-1 荒木田土)
種石 25 mm砂利 打設厚 20 cm

II. 版築風塗り工法

版築工法の特徴をわずか塗代 7 mmから表現することが出来ます。版築塗り工法の大きな特徴は、コンクリート打設の場合ジャンカは嫌われますが、このジャンカを意匠に表現したものです。

【版築風塗り工法の特徴】

1. 塗代 7 mmから版築工法を表現する。
2. 色が多彩。18色の土の色とブレンド色も可能。
3. 板枠の継手や段差が出る。
4. ジャンカを自在に表現する。
5. 土壁表面を濃淡のグラデーションにする。
6. 種石の種類により意匠が変化する。
7. 下地を選ばず、石膏ボード上の施工も可能



版築のテクスチャー

本版築のテクスチャーに似せて打ち継段を作りジャンカを混入します。石の大きさ、入れる場所より様々な表情が楽しめます。

① ジャンカ種石の種類 ()内の記号は略称です。



白玉石 2分 (w 2)



白玉石 1分 (w 1)



茶玉石 2分 (t 2)



茶玉石 1分 (t 1)

② ジャンカ混入位置 ()内の記号は略称です ジャンカ無しは(無)



ジャンカ 段部元入 (元)



ジャンカ 段部中入れ (中)



ジャンカ 段無しランダム (乱)

内部 色土系版築

色土によって版築を表現します。G-1~G-18は色土の記号です。



G-7 元 t 2



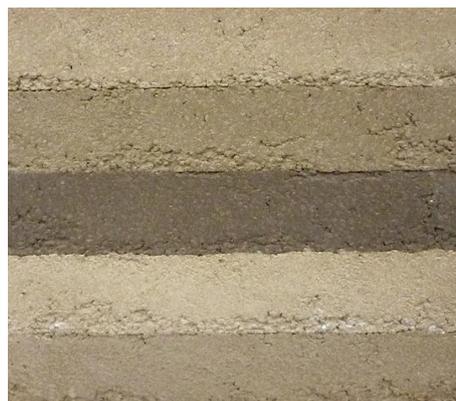
G-1 元 t 1 段無し



G-14 無



G-15 グラデーシオン



G1 G6 G15 小幅積層



特注色 段無し w

内外部用版築 漆喰系 セメント系 樹脂系の3種類があります。

※ (元)はジャンカ元入れ (中)はジャンカ中入れ (乱)はジャンカランダム

※ (t1)(t2)は茶色ジャンカ玉石1分、2分(w1)(w2)は白ジャンカ玉石1分、2分

漆喰系版築 本漆喰を材料に版築風に仕上げました。お風呂場でも使用可能 強アルカリでカビに強い。



漆喰黄色ぼかし 元 t1

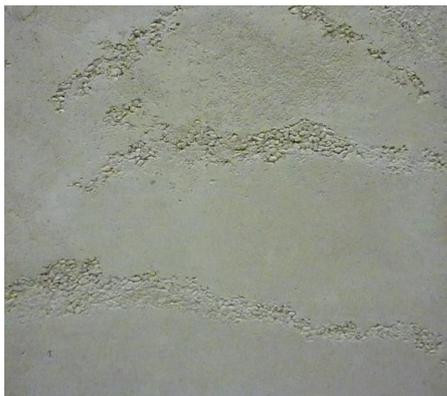


白漆喰 鋸波 元 w2



特注色掻き落とし 元 w2

セメント系版築 セメント系で版築風に仕上げます。強度が優れ耐候性にも優れています。



G-9 乱 w2



G-15 縦横 掻き落とし



G-2 掻き落とし

樹脂系版築 アクリル樹脂で版築風に仕上げます。ひび割れに強く、外部でも使用可能。



G-3 鋸波 元 t2



G-15 中 t2



G-2 元 w2